

平成25年度鳥取力創造運動支援補助金で採択された地域活動のご紹介

NPO・ボランティア団体、自治会等、企業などが取り組む地域づくり活動を支援する『鳥取力創造運動支援補助金』（第1次募集）の採択事業を決定したところですが、その中でも特にユニークな地域活動について4事業をご紹介します。今後、鳥取力創造活動を行う団体について、月に1回程度の割合でご紹介していく予定です。

(1) 沖ノ山森林鉄道および林業資材保存事業（山形財産区議会、智頭町）

山形地区は智頭町のなかでも古くから林業が栄えた地域で、芦津から沖ノ山までは森林鉄道網が構築され、林業の発展に貢献してきました。現在、森林軌道跡は森林セラピーロードとしても活用され注目を集めており、旧山形小学校跡地には森林鉄道の車両が保存されています。

山形地区では今年度、地元の木材を使って地元住民のボランティアにより、保存されている車両の屋根付けを行います。また同時に解説看板の設置も行い、その貴重な産業遺産を保存・継承していく計画です。

◇見どころ◇

森林整備に使われた鉄道の車両が今も残っている山形地区。鉄道好きの中でも「知る人ぞ知る」産業遺産なのですが、ここに脚光を当てる取り組みです。



◇お問い合わせ先◇

山形地区振興協議会 勢登郁代さん 電話：0858-75-0343

山形財産区議会 古田明美さん 電話：0858-75-4111（智頭町役場内）

(2) ナラ材を中心とした木質バイオマスの利用促進（讃郷（さんきょう）愛林協会、倉吉市・三朝町）



現在、三朝町や倉吉市でナラ枯れの被害が広がろうとしています。この地域でなるべくナラ枯れの勢力を弱らせ、関金から西、大山周辺への進入を食い止めたいとの思いから、讃郷愛林協会は活動しています。

伐採したナラ材は、「薪割りクラブ」が近年愛好家の増えている薪ストーブの燃料（薪や炭）として利用しています。また「きのこ同好会」がほだ木に利用しています。

◇見どころ◇

深刻なナラ枯れ対策を薪割りやきのこ作りに活用する逆転の発想で、地域での取り組みとして定着してきています。

◇お問い合わせ先◇

讃郷愛林協会 会長 田栗栄一さん 電話：0858-26-0118

(3) 二部梁山泊が二部地区を元気にする事業 Ver 2 (二部梁山泊、伯耆町)

「二部梁山泊」は、西伯郡伯耆町二部地区の保育園児のお父さん方を中心に結成されました。子どもたちが地域に誇りを持ち、良い思い出を残せるように、子どもたちと一緒に活動しています。

今年は、花畑を迷路に仕立て、町内外からの人を呼び込んで親子で遊べる場所を作ります。他にも、巨大カボチャを使用したカボチャ提灯を県道沿いに設置したり、ツリーハウスを作成したりと、年間を通じて子どもたちと遊びながら活動します。



◇見どころ◇

二部地区のお父さんお母さんたちが、地域と地域の子どものために立ち上がった「梁山泊」。二部というフィールドを活用し、地域で楽しめるイベントは住民とのふれあいを創出しています。

◇お問い合わせ先◇

二部梁山泊 頭領 かじましんじろう 梶間晋二郎さん 電話：090-7092-1187

(4) グランドカバープランツ植栽による「野分の館」周辺の景観形成及び除草作業の省力化事業 (野分の会、日南町)



文豪・井上靖の貴重な原稿や著書を展示している記念館「野分の館(日南町神福)」。地域住民で設立された「野分の会」が記念館の掃除や草刈りなどの維持管理を行っています。

高齢者の多い「野分の会」にとって負担となっている草刈り作業の省力化や、景観美化により多くの方に足を運んでもらうことを目的として、記念館前の町道沿い法面に芝桜を植栽します。植栽作業は6月中旬頃に「野分の会」会員と地域住民によって行われます。

◇見どころ◇

高齢化が進む日南町で、手入れの省力化と「野分の館」への愛着を高める取り組みです。「天体の植民地」と文豪井上靖が当地を詠んだ記念碑が、神福の自然の雄大さを物語っています。

◇お問い合わせ先◇

野分の会 会長 ふくだながとし 福田長歳さん 電話：0859-83-0454
